

トヨタグループ世界債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第131期 (決算日2018年7月20日) 第132期 (決算日2018年8月20日) 第133期 (決算日2018年9月20日)
第134期 (決算日2018年10月22日) 第135期 (決算日2018年11月20日) 第136期 (決算日2018年12月20日)

作成対象期間 (2018年6月21日～2018年12月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2007年7月6日から2022年6月20日までです。	
運用方針	トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド (以下「マザーファンド」といいます。) への投資を通じて、主として国内外のトヨタグループ企業*が発行する債券 (MTN (ミディアム・ターム・ノート)、普通社債等) に実質的に投資し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ※トヨタグループ企業とは、トヨタ自動車株式会社の、国内外の連結子会社および持分法適用関連会社をいいます。	
主な投資対象	トヨタグループ世界債券ファンド (毎月分配型)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	国内外のトヨタグループ企業が発行する債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	トヨタグループ世界債券ファンド (毎月分配型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指数	債券先物比率		純資産額	
		税分	込配	み騰落		債組入	券先物		
	円	円	円	中率	期騰落	中率	比率	百万円	
107期(2016年7月20日)	8,123	15		△1.2	110.94	△1.1	98.3	—	2,359
108期(2016年8月22日)	7,776	15		△4.1	106.41	△4.1	98.4	—	2,253
109期(2016年9月20日)	7,787	15		0.3	106.64	0.2	98.0	—	2,253
110期(2016年10月20日)	7,826	15		0.7	107.27	0.6	98.1	—	2,254
111期(2016年11月21日)	8,082	15		3.5	111.42	3.9	98.1	—	2,310
112期(2016年12月20日)	8,464	15		4.9	117.13	5.1	97.6	—	2,397
113期(2017年1月20日)	8,426	15		△0.3	116.76	△0.3	97.8	—	2,386
114期(2017年2月20日)	8,346	15		△0.8	115.51	△1.1	97.6	—	2,356
115期(2017年3月21日)	8,297	15		△0.4	115.09	△0.4	96.9	—	2,339
116期(2017年4月20日)	8,072	15		△2.5	112.14	△2.6	97.0	—	2,268
117期(2017年5月22日)	8,323	15		3.3	115.97	3.4	98.3	—	2,336
118期(2017年6月20日)	8,356	15		0.6	116.59	0.5	97.8	—	2,321
119期(2017年7月20日)	8,570	15		2.7	119.74	2.7	97.1	—	2,359
120期(2017年8月21日)	8,408	15		△1.7	117.59	△1.8	96.9	—	2,312
121期(2017年9月20日)	8,700	15		3.7	121.94	3.7	96.9	—	2,389
122期(2017年10月20日)	8,677	15		△0.1	121.63	△0.3	97.8	—	2,358
123期(2017年11月20日)	8,513	15		△1.7	119.60	△1.7	97.8	—	2,305
124期(2017年12月20日)	8,586	15		1.0	120.88	1.1	97.2	—	2,326
125期(2018年1月22日)	8,616	15		0.5	121.32	0.4	97.4	—	2,318
126期(2018年2月20日)	8,278	15		△3.7	116.94	△3.6	97.4	—	2,226
127期(2018年3月20日)	8,108	15		△1.9	114.99	△1.7	97.4	—	2,169
128期(2018年4月20日)	8,229	15		1.7	117.03	1.8	97.4	—	2,206
129期(2018年5月21日)	8,251	15		0.4	117.58	0.5	97.6	—	2,200
130期(2018年6月20日)	8,073	15		△2.0	115.35	△1.9	98.1	—	2,144
131期(2018年7月20日)	8,225	15		2.1	118.02	2.3	97.3	—	2,182
132期(2018年8月20日)	8,031	15		△2.2	115.03	△2.5	97.1	—	2,131
133期(2018年9月20日)	8,194	15		2.2	117.91	2.5	96.2	—	2,192
134期(2018年10月22日)	8,089	15		△1.1	116.54	△1.2	97.0	—	2,155
135期(2018年11月20日)	8,108	15		0.4	117.47	0.8	97.1	—	2,157
136期(2018年12月20日)	8,005	15		△1.1	116.91	△0.5	97.2	—	2,131

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3-5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。なお、設定日の応当日を100として指数化しています。

* FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率			騰 落 率			
第131期	(期 首) 2018年6月20日	円	8,073	%	115.35	%	98.1	%	—
	6月末		8,077	0.0	115.60	0.2	97.6	—	—
	(期 末) 2018年7月20日		8,240	2.1	118.02	2.3	97.3	—	—
第132期	(期 首) 2018年7月20日		8,225	—	118.02	—	97.3	—	—
	7月末		8,156	△0.8	116.82	△1.0	96.8	—	—
	(期 末) 2018年8月20日		8,046	△2.2	115.03	△2.5	97.1	—	—
第133期	(期 首) 2018年8月20日		8,031	—	115.03	—	97.1	—	—
	8月末		8,131	1.2	116.39	1.2	96.8	—	—
	(期 末) 2018年9月20日		8,209	2.2	117.91	2.5	96.2	—	—
第134期	(期 首) 2018年9月20日		8,194	—	117.91	—	96.2	—	—
	9月末		8,247	0.6	118.61	0.6	95.9	—	—
	(期 末) 2018年10月22日		8,104	△1.1	116.54	△1.2	97.0	—	—
第135期	(期 首) 2018年10月22日		8,089	—	116.54	—	97.0	—	—
	10月末		8,088	△0.0	116.83	0.2	96.7	—	—
	(期 末) 2018年11月20日		8,123	0.4	117.47	0.8	97.1	—	—
第136期	(期 首) 2018年11月20日		8,108	—	117.47	—	97.1	—	—
	11月末		8,130	0.3	118.20	0.6	96.9	—	—
	(期 末) 2018年12月20日		8,020	△1.1	116.91	△0.5	97.2	—	—

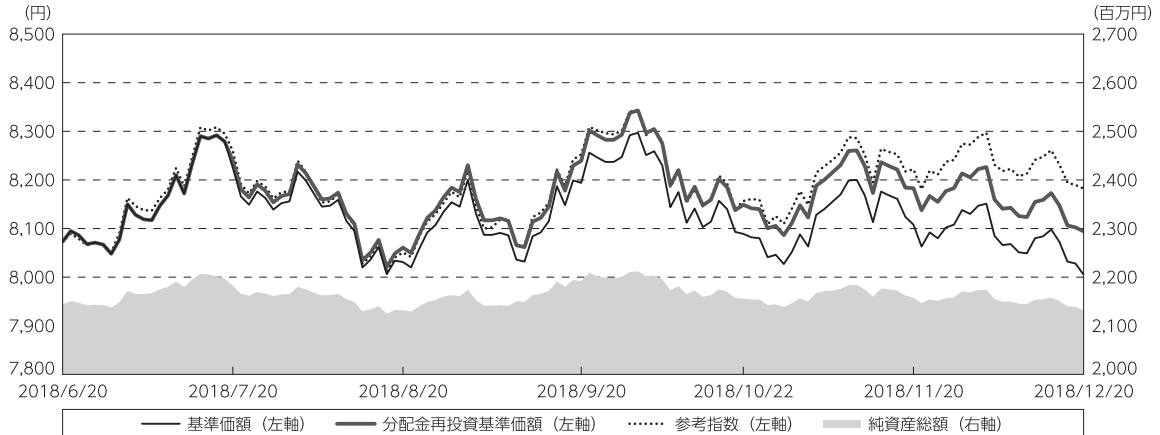
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第131期首：8,073円

第136期末：8,005円（既払分配金（税込み）：90円）

騰落率：0.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年6月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3－5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売相場仲値で円換算したものです。参考指数は、作成期首（2018年6月20日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇)・保有する債券からの利息収入。
 ・投資通貨である米ドル、ユーロ、カナダドルが対円で上昇（円安）したこと。
- (下落)・投資通貨である英ポンド、豪ドルが対円で下落（円高）したこと。

○投資環境

通貨については、米中貿易摩擦をめぐる不透明感があつたものの、労働市場の改善などを背景にFRB（米連邦準備制度理事会）が政策金利の引き上げを継続したことなどから、米ドルは円に対して上昇しました。投資しているその他の通貨については、ユーロやカナダドルは円に対して小幅の上昇となり、米欧株式市場の急落や米中貿易摩擦をめぐる不透明感などを背景に豪ドルは円に対して下落となりました。英ポンドについては、英国が合意なしでEU（欧州連合）を離脱するとの懸念が強まる場面があるなど、英国のEU離脱を巡る先行き不透明感が強いことから円に対して下落しました。

債券については、米国の良好な経済を背景にFRBが政策金利の引き上げを行なったことなどを受けて債券利回りが上昇（価格は下落）する場面もありましたが、米欧株式市場や原油価格の急落を受けて米国経済の先行き不透明感が強まったことから、米国債利回りは低下（価格は上昇）となりました。保有するトヨタグループ企業の債券については、米欧株式市場や原油価格の下落、米中貿易摩擦の不透明感などを背景に、対国債スプレッド（利回り格差）は拡大となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド]

組入通貨について

設定時において選定した5カ国の通貨に原則として均等投資いたしました。

組入債券の資産配分について

追加的な資金の流出入に応じてトヨタグループ企業の債券を売買し、債券組入比率を高位に維持しながら、ポートフォリオの債券はすべてトヨタグループ企業の債券としました。

組入債券の信用格付け配分について

当作成期を通じてAA格以上の格付けを持つ債券を中心に保有しました。

[トヨタグループ世界債券ファンド（毎月分配型）]

追加的な資金の流出入に応じて、主要投資対象であるトヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの組み入れを高位に維持し、トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

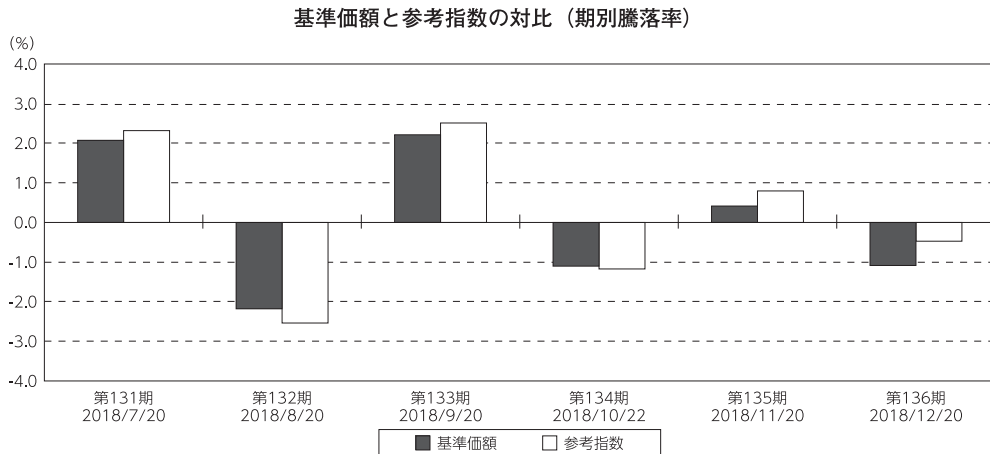
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が1.36%の上昇となったのに対し、基準価額は0.26%* 上昇しました。

* 基準価額の騰落率は分配金（税込み）を決算日に再投資したと仮定して算出したものです。

差異の要因については、保有する一部の債券の対国債スプレッドが拡大したことがマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3～5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次表の通りとさせていただきます。
なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.182%	15 0.186%	15 0.183%	15 0.185%	15 0.185%	15 0.187%
当期の収益	15	9	15	10	13	9
当期の収益以外	—	5	—	4	1	5
翌期繰越分配対象額	485	480	481	477	475	469

〔注〕対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

〔注〕当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド]

引き続きトヨタグループ企業の債券を中心としたポートフォリオ構成とします。投資にあたっては、発行体の信用状況や同一通貨建ての国債とのスプレッド等を考慮します。また、流動性リスクに配慮し、ポートフォリオの一部に国債を組み入れる場合があります。

組入通貨については、設定時に選定した5カ国の通貨（米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル）に均等投資します。通貨比率の調整のために為替予約取引を活用します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは3～5年程度を維持します。デュレーション調整のために、債券先物を利用する場合があります。

[トヨタグループ世界債券ファンド（毎月分配型）]

主要投資対象であるトヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの高位組入比率を維持し、トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの投資成果を享受するよう努めます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

（2018年6月21日～2018年12月20日）

項 目	第131期～第136期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.531	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.244)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.271)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	44	0.538	
作成期間の平均基準価額は、8,138円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年6月21日～2018年12月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第131期～第136期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千口 14,632	千円 18,260	千口 52,606	千円 66,880

* 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月21日～2018年12月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年12月20日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第130期末	第136期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
トヨタグループ世界債券ファンド	マザーファンド	1,711,960	1,673,987	2,102,528

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年12月20日現在)

項	目	第136期末	
		評価額	比率
		千円	%
トヨタグループ世界債券ファンド	マザーファンド	2,102,528	98.3
コール・ローン等、その他		36,195	1.7
投資信託財産総額		2,138,723	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドにおいて、第136期末における外貨建て純資産（7,541,074千円）の投資信託財産総額（7,626,045千円）に対する比率は98.9%です。

*外貨建て資産は、第136期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.60円、1カナダドル=83.50円、1英ポンド=142.12円、1ユーロ=128.18円、1豪ドル=80.18円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末
	2018年7月20日現在	2018年8月20日現在	2018年9月20日現在	2018年10月22日現在	2018年11月20日現在	2018年12月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,195,802,116	2,137,911,025	2,198,736,017	2,162,767,635	2,164,608,483	2,138,723,925
コール・ローン等	29,803,552	17,498,107	17,603,180	22,754,102	13,507,446	36,195,918
トヨタグループ世界債券ファンド マチーフンド(円価額)	2,165,998,564	2,120,412,918	2,176,102,837	2,140,013,533	2,138,391,037	2,102,528,007
未収入金	—	—	5,030,000	—	12,710,000	—
(B) 負債	13,176,882	6,103,314	6,498,747	6,994,590	6,641,234	7,401,639
未払収益分配金	3,980,235	3,981,489	4,013,239	3,997,711	3,992,067	3,993,681
未払解約金	7,304,479	177,847	540,727	962,450	825,831	1,528,915
未払信託報酬	1,888,264	1,939,995	1,940,795	2,030,251	1,819,609	1,875,154
未払利息	60	34	35	46	26	73
その他未払費用	3,844	3,949	3,951	4,132	3,701	3,816
(C) 純資産総額(A－B)	2,182,625,234	2,131,807,711	2,192,237,270	2,155,773,045	2,157,967,249	2,131,322,286
元本	2,653,490,231	2,654,326,485	2,675,493,302	2,665,141,128	2,661,378,101	2,662,454,324
次期繰越損益金	△ 470,864,997	△ 522,518,774	△ 483,256,032	△ 509,368,083	△ 503,410,852	△ 531,132,038
(D) 受益権総口数	2,653,490,231口	2,654,326,485口	2,675,493,302口	2,665,141,128口	2,661,378,101口	2,662,454,324口
1万円当たり基準価額(C/D)	8.225円	8.031円	8.194円	8.089円	8.108円	8.005円

(注) 第131期首元本額は2,655,943,091円、第131～136期中追加設定元本額は74,631,567円、第131～136期中一部解約元本額は68,120,334円、1口当たり純資産額は、第131期0.8225円、第132期0.8031円、第133期0.8194円、第134期0.8089円、第135期0.8108円、第136期0.8005円です。

○損益の状況

項 目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,194	△ 1,065	△ 749	△ 1,178	△ 911	△ 1,552
支払利息	△ 1,194	△ 1,065	△ 749	△ 1,178	△ 911	△ 1,552
(B) 有価証券売買損益	46,193,612	△ 45,544,222	49,217,287	△ 21,997,795	11,052,195	△ 21,650,409
売買益	46,483,527	39,921	49,339,918	101,187	11,092,390	20,930
売買損	△ 289,915	△ 45,584,143	△ 122,631	△ 22,098,982	△ 40,195	△ 21,671,339
(C) 信託報酬等	△ 1,892,108	△ 1,943,944	△ 1,944,746	△ 2,034,383	△ 1,823,310	△ 1,878,970
(D) 当期損益金(A+B+C)	44,300,310	△ 47,489,231	47,271,792	△ 24,033,356	9,227,974	△ 23,530,931
(E) 前期繰越損益金	△ 366,358,795	△ 325,314,112	△ 375,356,865	△ 329,994,893	△ 357,002,896	△ 350,723,821
(F) 追加信託差損益金	△ 144,826,277	△ 145,733,942	△ 151,157,720	△ 151,342,123	△ 151,643,863	△ 152,883,605
(配当等相当額)	(74,722,418)	(74,897,765)	(76,117,515)	(75,982,954)	(75,955,904)	(76,157,680)
(売買損益相当額)	(△ 219,548,695)	(△ 220,631,707)	(△ 227,275,235)	(△ 227,325,077)	(△ 227,599,767)	(△ 229,041,285)
(G) 計(D+E+F)	△ 466,884,762	△ 518,537,285	△ 479,242,793	△ 505,370,372	△ 499,418,785	△ 527,138,357
(H) 収益分配金	△ 3,980,235	△ 3,981,489	△ 4,013,239	△ 3,997,711	△ 3,992,067	△ 3,993,681
次期繰越損益金(G+H)	△ 470,864,997	△ 522,518,774	△ 483,256,032	△ 509,368,083	△ 503,410,852	△ 531,132,038
追加信託差損益金	△ 144,826,277	△ 145,733,942	△ 151,157,720	△ 151,342,123	△ 151,643,863	△ 152,883,605
(配当等相当額)	(74,738,638)	(74,903,358)	(76,151,203)	(75,990,600)	(75,958,424)	(76,163,209)
(売買損益相当額)	(△ 219,564,915)	(△ 220,637,300)	(△ 227,308,923)	(△ 227,332,723)	(△ 227,602,287)	(△ 229,046,814)
分配準備積立金	54,029,673	52,540,635	52,720,619	51,148,094	50,508,257	48,856,119
繰越損益金	△ 380,068,393	△ 429,325,467	△ 384,818,931	△ 409,174,054	△ 402,275,246	△ 427,104,552

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2018年6月21日～2018年12月20日）は以下の通りです。

項 目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2018年6月21日～ 2018年7月20日	2018年7月21日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月20日	2018年9月21日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月20日	2018年11月21日～ 2018年12月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,077,144円	2,601,671円	4,381,219円	2,733,099円	3,487,640円	2,477,988円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	74,738,638円	74,903,358円	76,151,203円	75,990,600円	75,958,424円	76,163,209円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	53,932,764円	53,920,453円	52,352,639円	52,412,706円	51,012,684円	50,371,812円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	132,748,546円	131,425,482円	132,885,061円	131,136,405円	130,458,748円	129,013,009円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	500円	495円	496円	492円	490円	484円
g. 分配金	3,980,235円	3,981,489円	4,013,239円	3,997,711円	3,992,067円	3,993,681円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

○分配金のお知らせ

	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
1 万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日2018年12月20日）

作成対象期間（2017年12月21日～2018年12月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として国内外のトヨタグループ企業*が発行する債券（MTN（ミディアム・ターム・ノート）、普通社債等）に投資し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。投資を行う債券は、原則としてA格以上の格付けを有する信用度の高いものとします。（格付けのない場合には、委託者が同等の信用度を有すると判断したものを含みます。） ※トヨタグループ企業とは、トヨタ自動車株式会社の、国内外の連結子会社および持分法適用関連会社をいいます。
主な投資対象	国内外のトヨタグループ企業が発行する債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債券先物比率		純資産額
	騰落	率		組入比率	率	
	円	%		%	%	百万円
8期(2014年12月22日)	13,810	13.2	130.57	11.9	97.3	8,110
9期(2015年12月21日)	12,997	△5.9	123.62	△5.3	97.6	8,036
10期(2016年12月20日)	12,454	△4.2	117.13	△5.3	97.8	7,907
11期(2017年12月20日)	13,045	4.7	120.88	3.2	97.8	7,954
12期(2018年12月20日)	12,560	△3.7	116.91	△3.3	98.5	7,567

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3-5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。なお、設定日の応当日を100として指数化しています。

*FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

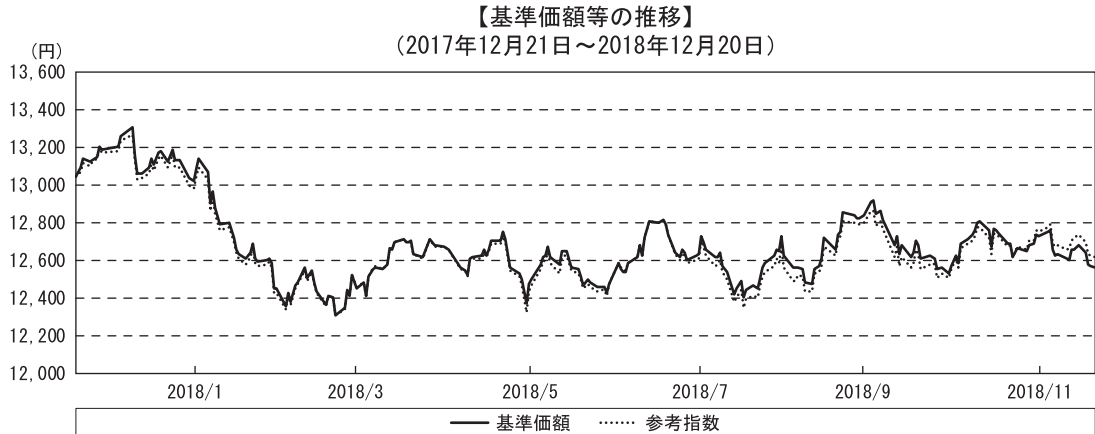
年月日	基準価額		参考指数		債券先物比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2017年12月20日	円	%		%	%	%
	13,045	—	120.88	—	97.8	—
12月末	13,189	1.1	122.09	1.0	97.8	—
2018年1月末	13,024	△0.2	120.28	△0.5	97.8	—
2月末	12,584	△3.5	116.40	△3.7	97.8	—
3月末	12,448	△4.6	115.42	△4.5	98.1	—
4月末	12,677	△2.8	117.46	△2.8	98.4	—
5月末	12,475	△4.4	115.19	△4.7	97.8	—
6月末	12,471	△4.4	115.60	△4.4	98.3	—
7月末	12,629	△3.2	116.82	△3.4	97.6	—
8月末	12,625	△3.2	116.39	△3.7	97.3	—
9月末	12,841	△1.6	118.61	△1.9	96.9	—
10月末	12,626	△3.2	116.83	△3.4	97.4	—
11月末	12,727	△2.4	118.20	△2.2	98.0	—
(期末) 2018年12月20日	12,560	△3.7	116.91	△3.3	98.5	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3～5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首13,045円から期末12,560円となりました。

(上昇)・保有する債券からの利息収入。

(下落)・すべての投資通貨（米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル）が対円で下落（円高）したこと。

○当ファンドのポートフォリオ 組入通貨について

設定時において選定した5カ国の通貨に原則として均等投資いたしました。

組入債券の資産配分について

追加的な資金の流出入に応じてトヨタグループ企業の債券を売買し、債券組入比率を高位に維持しながら、ポートフォリオの債券はすべてトヨタグループ企業の債券としました。

組入債券の信用格付け配分について

期を通じてAA格以上の格付けを持つ債券を中心に保有しました。

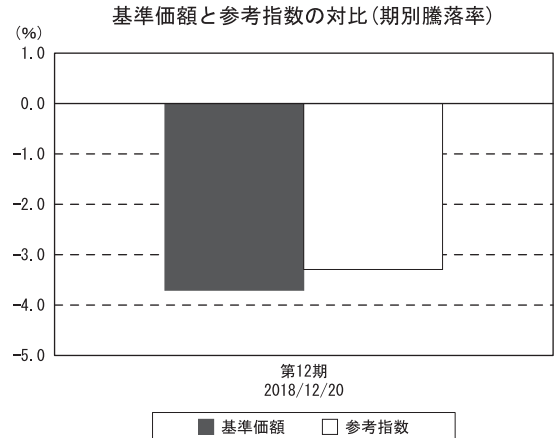
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が3.29%の下落となったのに対し、基準価額は3.72%下落しました。

差異の要因については、保有する一部の債券の対国債スプレッドが拡大したことがマイナス要因となりました。



(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。

◎今後の運用方針

引き続きトヨタグループ企業の債券を中心としたポートフォリオ構成とします。投資にあたっては、発行体の信用状況や同一通貨建ての国債とのスプレッド等を考慮します。また、流動性リスクに配慮し、ポートフォリオの一部に国債を組み入れる場合があります。

組入通貨については、設定時に選定した5カ国の通貨(米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル)に均等投資します。通貨比率の調整のために為替予約取引を活用します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは3~5年程度を維持します。デュレーション調整のために、債券先物を利用する場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年12月21日～2018年12月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.011	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、12,693円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年12月21日～2018年12月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル 23,829	千米ドル 13,748
	カナダ	社債券（投資法人債券を含む）	千カナダドル 14,485	千カナダドル 24,624
	ユーロ		千ユーロ 3,508	千ユーロ —
	オランダ	社債券（投資法人債券を含む）	652	1,240
	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	652	1,240
	オーストラリア	社債券（投資法人債券を含む）	千豪ドル 5,982	千豪ドル 12,519

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年12月21日～2018年12月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 15,800	百万円 10	% 0.1	百万円 15,786	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2018年12月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 26,000	千米ドル 25,828	千円 2,908,235	% 38.4	% -	% 11.8	% 26.7	% -
カナダ	千カナダドル 7,500	千カナダドル 7,461	623,024	8.2	-	-	8.2	-
イギリス	千英ポンド 9,500	千英ポンド 9,340	1,327,507	17.5	-	-	17.5	-
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	3,500	3,495	448,001	5.9	-	-	5.9	-
アメリカ	8,600	9,257	1,186,622	15.7	-	-	15.7	-
オーストラリア	千豪ドル 12,000	千豪ドル 12,028	964,424	12.7	-	-	12.7	-
合 計	-	-	7,457,815	98.5	-	11.8	86.8	-

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA INDUSTRIES CORP	3.235	4,000	3,965	446,528	2023/3/16
		TOYOTA MOTOR CORP	3.419	4,000	3,996	450,044	2023/7/20
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.3	1,000	1,000	112,654	2022/1/12
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.45	5,000	4,997	562,681	2023/9/20
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.4	7,000	6,930	780,356	2025/4/14
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.2	1,000	969	109,120	2027/1/11
		TOYOTA TSUSHO CORP	3.625	4,000	3,968	446,850	2023/9/13
小	計				2,908,235		
カナダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA CREDIT CANADA INC	2.7	2,500	2,469	206,242	2023/1/25
		TOYOTA CREDIT CANADA INC	3.04	5,000	4,991	416,781	2023/7/12
小	計				623,024		
イギリス	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	1.125	4,500	4,459	633,734	2021/9/7
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	1.0	5,000	4,881	693,772	2022/9/27
小	計				1,327,507		
ユーロ	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR FINANCE BV	0.625	3,500	3,495	448,001	2023/9/26
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.375	8,600	9,257	1,186,622	2023/2/1
小	計				1,634,624		
オーストラリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA FINANCE AUSTRALIA	3.3	6,000	6,039	484,258	2023/11/22
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.75	6,000	5,988	480,165	2021/7/26
小	計				964,424		
合	計				7,457,815		

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年12月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	7,457,815	97.8
コール・ローン等、その他	168,230	2.2
投資信託財産総額	7,626,045	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(7,541,074千円)の投資信託財産総額(7,626,045千円)に対する比率は98.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.60円、1カナダドル=83.50円、1英ポンド=142.12円、1ユーロ=128.18円、1豪ドル=80.18円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,721,116,856
コール・ローン等	98,467,713
公社債(評価額)	7,457,815,782
未収入金	3,095,320,992
未収利息	66,256,137
前払費用	3,256,232
(B) 負債	3,153,496,099
未払金	3,111,305,929
未払解約金	42,190,000
未払利息	170
(C) 純資産総額(A-B)	7,567,620,757
元本	6,025,178,607
次期繰越損益金	1,542,442,150
(D) 受益権総口数	6,025,178,607口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,560円

(注) 期首元本額は6,097,386,742円、期中追加設定元本額は209,482,079円、期中一部解約元本額は281,690,214円、1口当たり純資産額は1,2560円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・トヨタグループ世界債券ファンド(年2回分配型) 4,351,191,340円
 ・トヨタグループ世界債券ファンド(毎月分配型) 1,673,987,267円

○損益の状況 (2017年12月21日～2018年12月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	184,908,545
受取利息	184,955,926
支払利息	△ 47,381
(B) 有価証券売買損益	△ 477,360,373
売買益	123,494,718
売買損	△ 600,855,091
(C) 保管費用等	△ 811,585
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 293,263,413
(E) 前期繰越損益金	1,856,917,428
(F) 追加信託差損益金	55,527,921
(G) 解約差損益金	△ 76,739,786
(H) 計(D+E+F+G)	1,542,442,150
次期繰越損益金(H)	1,542,442,150

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2018年12月20日現在)

年 月	日
2018年12月	25、26
2019年1月	21
2月	18
3月	－
4月	19、22
5月	27
6月	－
7月	4
8月	26
9月	2
10月	－
11月	11、28
12月	25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。